科目ナンバリング	G-LAS12 80039 LJ44						
授業科目名 <英訳>	AI技術利活用実践 AI technology utilization practice			担当者所属 職名・氏名	経営管理大学院 客員教授 前川　佳一 経営管理大学院 特定教授 藤田　哲雄		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	統計・情報・データ科学系	使用言語	日本語		
旧群		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・ 前期集中	曜時限	集中 9月26日（木）、27日（金）　各2限~5限	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

（経営管理大学院, 情報学研究科の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

世界がデジタル化に向けてスピードを加速させていくなかで、AIを代表とするデジタル技術も凄まじいスピードで進化を遂げている。このような世界において、いかに新しい技術に触れ、それを使いこなしていくかは、これからのビジネスパーソンにとって重要な要素である。そこで本講義では、AIのような新しい技術をいかにビジネスに活用していくかを、手法や意識しておくべきマインドセットと共に実践形式で学びながら習得する。また、デジタル技術の応用事例について、現在のトレンドと今後の展望を概観する。

「情報学ビジネス実践講座」：京都大学と協力企業（ANA・ANAシステムズ、NTTデータグループ、DMG森精機、東京海上日動火災保険・東京海上日動システムズ、三井住友フィナンシャルグループ・日本総合研究所、日本電気）が、デジタル時代の社会で活躍するために、ITとそのビジネスへの活用を実践的に学べる場を提供することを目的に設立した産学共同講座。詳細は講座ホームページ（https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/pib/）参照

非常勤講師：ＮＴＴデータグループ　正野 勇嗣　様

[到達目標]

AIに代表されるデジタル技術を活用するサービスのアイデアを考え、実装の演習まで経験する。

[授業計画と内容]

１. 先端技術概要
・AIやVRなどを含む様々なデジタル技術の概要を理解する
・それぞれのデジタル技術についてビジネスでの活用例を紹介する
２. ビジネスのWhy
・課題発見からビジネスの企画構想の方法を説明する
・リーンキャンパスやCustomer Value Chain Analysis、ペルソナなどの一般的なビジネスフレームワークを理解する
３. ビジネスのWhat
・ビジネスの企画構想からサービス（プロダクト/アプリ）のデザイン手法を説明する
・カスタマージャーニーマップ、ユーザーストーリーマッピングなどの一般的なサービスデザイン手法を理解する
４. デジタル技術を活用したビジネスを考えてみよう
・10年後の社会におけるAIやVRなどの先端技術の活用シーンをワークショップ形式で考える
・検討したアイデアを共有し、フィードバックをもらう
５. ビジネスのHow
・ビジネスを実現するために、AIなどのデジタル技術を使ったアプリ開発の仕方について、アジャイル開発を例に学習する

AI技術利活用実践(2)へ続く↓↓↓

AI技術利活用実践(2)

・実際のビジネス現場での開発作法を理解する
６. アプリを作ってみよう　その１ ～まずは準備から～
・Gitなどのアプリ開発に必要な道具を備える
・実際にどうやってアプリ開発を進めていくのか、ハンズオン形式で学習する
７. アプリを作ってみよう　その２ ～動かしてみよう～
・身近な課題を題材に、アプリのプロトタイプを作成し、動かしてみる（アプリ内容は検討中）
８. ビジネスの事例
　近年のいろいろなビジネスでの事例にふれる

非常勤講師のNTTデータ正野 勇嗣氏は、DXを推進するための研究開発やデジタル技術を応用したサービス創出に関する戦略検討を担う。

[履修要件]

受講人数を制限することがあります。その場合、情報学ビジネス実践講座プログラム(https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/pib/)登録者を優先します。

[成績評価の方法・観点]

講義でのディスッカション等への貢献度、プレゼンテーション等の内容、講義終了後に提出されるレポートにより総合的に判断する。

[教科書]

使用しない
特に定めない。必要な資料は講義において配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

（関連ＵＲＬ）

https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/pib/(情報学ビジネス実践講座)

[授業外学修（予習・復習）等]

受講に際し情報やITに関する特別の知識は必須ではないが、講義の効果を高めるため事前予習を課す場合がある。

[その他（オフィスアワー等）]

※オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。